

# 北海道新幹線の有効活用 についての提言書

～新小樽（仮称）駅周辺の整備に向けて～



平成26年6月

北海道新幹線建設促進小樽期成会

# 北海道新幹線札幌延伸による経済波及効果

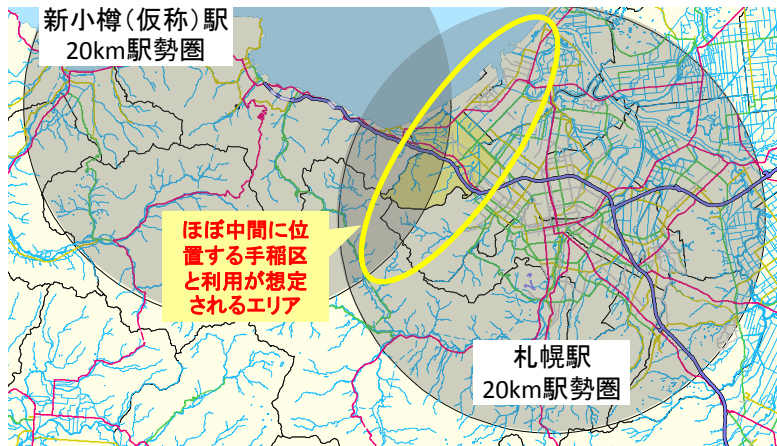
北海道新幹線札幌延伸による経済波及効果調査事業の概要  
(平成25年6月北海道総合政策部交通政策局新幹線推進室)より

	札幌市	札幌市除道央	道南	道北	ホムツ	十勝	釧路根室	北海道計
純増交流人口(万人)	33.3	3	15.7	13.5	4.4	2.9	4.1	42.4
総消費額(億円)	535	25	34	38	12	8	11	663
生産波及効果(億円)	683	95	57	65	23	19	22	964
全道シェア	70.9%	9.9%	5.9%	6.7%	2.4%	2.0%	2.3%	100.0%

※各圏域の純増交流人口は、他圏域との重複を含むことから、北海道と各圏域の合計は一致しない。

北海道の試算した経済波及効果では、生産波及効果約1000億円の内訳は札幌市が7割を占め、小樽市を含む道央圏では100億円と10%程度の効果となっている。

小樽市において北海道新幹線延伸の大きな波及効果を楽しむためには札幌市を含む他地域との協働連携による駅勢圏の拡大が交流人口・波及効果獲得のポイントとなる。



※手稲区は札幌市の約7%の都市規模  
人口141千人(126千人)  
( )は小樽市 H26.3月末

## 目次

はじめに	1
提言の基本的な考え方	2
小樽ならではの鉄道-小樽港連携ネットワークづくり	4
新小樽(仮称)駅と既存地域資源などとの連携の促進	6
新小樽(仮称)駅前広場からの公共交通の充実	8
新小樽(仮称)駅利用の基本となる大規模駐車場の整備	10
小樽市内外との新小樽(仮称)駅アクセス道路等の整備	12
広域高速交通機能を活用した都市型住宅の整備	14

## はじめに

北海道新幹線「新小樽（仮称）駅」の開業は、小樽の未来を先導する希望のプロジェクトです。

新幹線の整備が小樽市のまちづくりをけん引するには、新小樽（仮称）駅が、新幹線を軸とした交通の拠点として、小樽港や近接する高速道路とのアクセス性を最大限高め、高速交通体系の結節点となるよう整備することが必要です。

新小樽（仮称）駅の周辺の整備にあたっては、港まち小樽ならではの強みを活かし札幌に近いという地理的条件を克服し、小樽の発展に繋げるためにさらなる施策が必要です。

「北海道新幹線有効活用ワークショップ」では、有識者や東北・北海道新幹線の誘致や宣伝活動に関わった各界・各層の方々の提案を学ぶとともに、最も効果的な北海道新幹線・新小樽（仮称）駅の開業をイメージし、新小樽（仮称）駅の実現に向けて継続的な取り組みや、活用方策を「提言書」としてまとめました。

この提言書は、小樽市における「新幹線」議論の出発としてまとめたものであり、北海道新幹線新小樽（仮称）駅の周辺整備に向け、一層の市民理解を得るための具体的な検討の基礎資料として活用されることを望みます。

北海道新幹線有効活用ワークショップ

座長 中野 豊

### ◎交流人口（乗降客）獲得の為に方向性そして定住人口の増加へ

全列車を新小樽（仮称）駅に停車させる為に⇒

#### **「現駅と新駅がひとつの駅として認識できる環境の実現」**

##### それに向けた6つの着眼点

- ①新小樽（仮称）駅と小樽駅および小樽港をできる限り短時間で結ぶ
- ②新駅舎の有効活用を考える
- ③高速道路を活用した二次交通を充実させる
- ④少ない土地に効率の良い駐車場を整備する
- ⑤周辺自治体への業務・観光の中継基地化を図る
- ⑥将来の新幹線通勤を想定した住宅地の提供（定住人口の増加へ）

## 提言の基本的な考え方

### 小樽市の地域振興に向けた継続的な取り組み

新幹線整備にあたっては、人々の生活行動領域の広域化と交流人口の拡大、市民の通勤・通学などの生活スタイルの変化などを促進し、市民生活の向上や産業の振興に結び付けるよう進めることが大切です。

今後、新小樽（仮称）駅の開業を見据え、市民生活の向上と小樽市の産業の発展のために必要な施策について十分検討し、地域の創意と工夫により実現していくことが必要です。

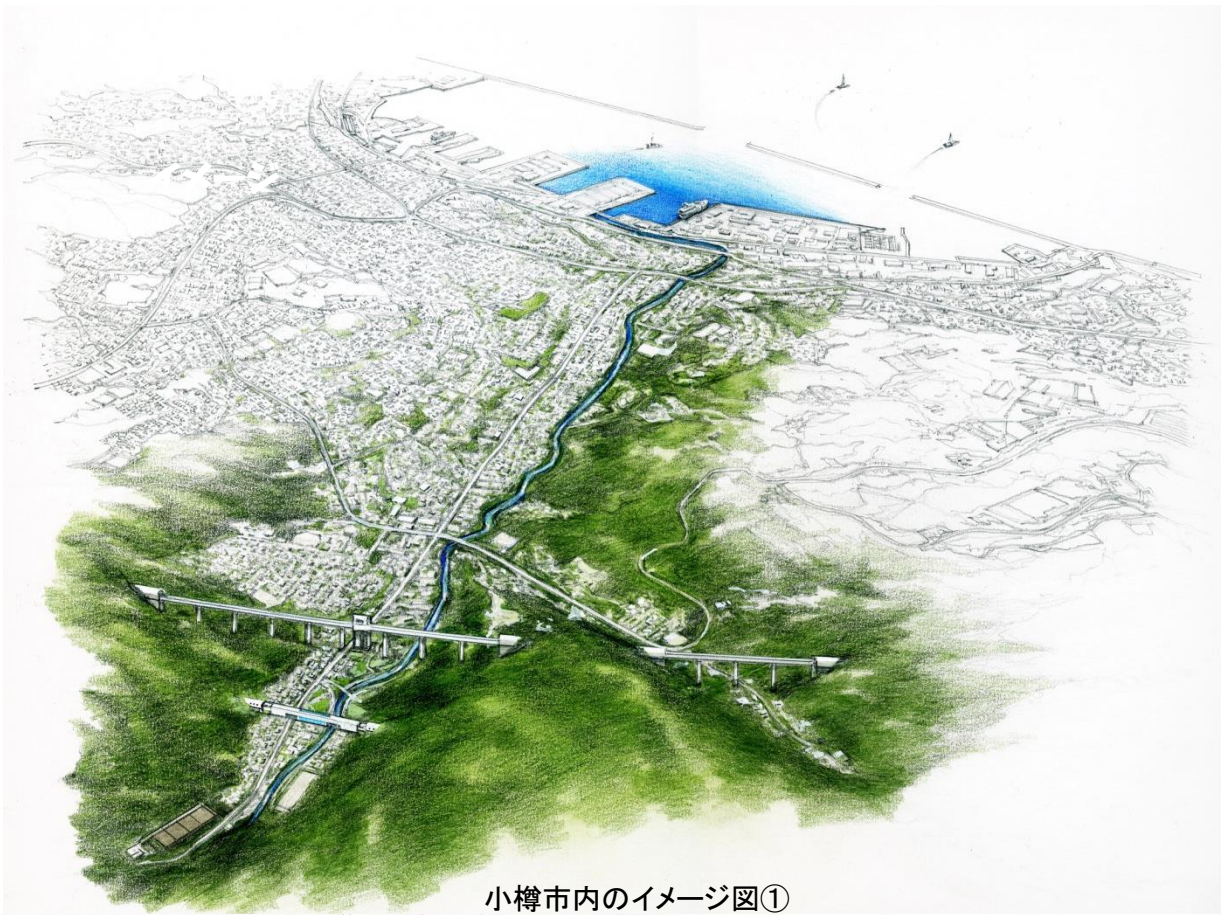
本提言書を出発点として、民間事業者、関係行政機関、市民・市民団体などの関係者が、新幹線の有効活用の可能性、実現性について継続的に検討を行うことが必要です。

### 新小樽（仮称）駅開業の波及効果の発現

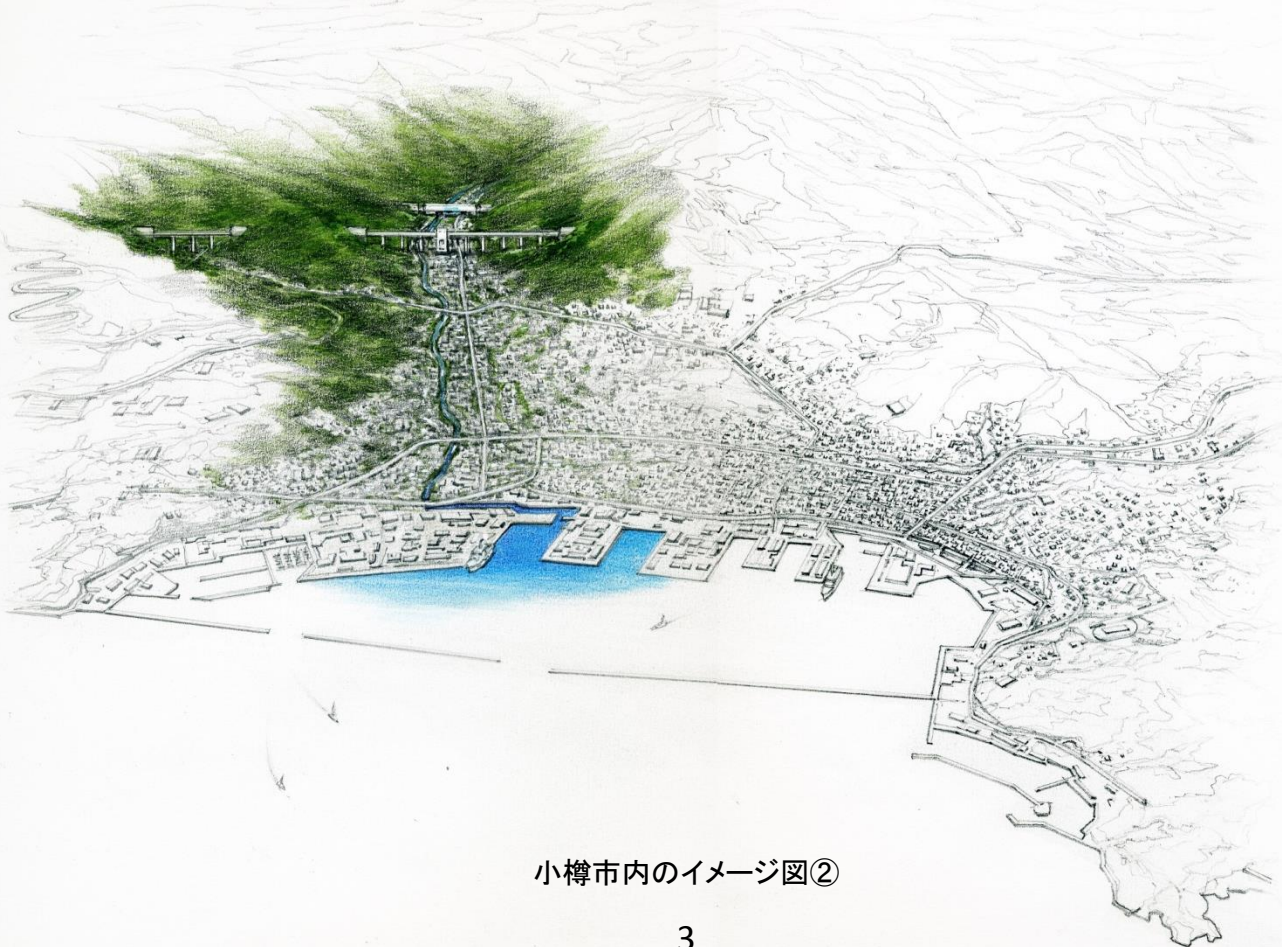
新小樽（仮称）駅の開業には、広域高速交通体系の実現による生活圏域の拡大、時間短縮、移動利便性の向上などによる観光客、企業誘致の増加など整備効果が期待されています。

こうした効果を活かすには、駅舎とその周辺地域の整備にとどまらず、広域観光振興策の推進や小樽市全体の道路交通体系の確立、港湾機能の高度化など、地域のまちづくりに関連する様々な分野のソフト、ハード両面からの施策を一体的、総合的に推進することが必要です。

人材育成、新しい観光スポット整備等、各種の観光振興施策や新幹線と港湾との連携確保に向けた市内外への総合的な交通体系整備などについて、新小樽（仮称）駅開業による波及効果を最大限に高める視点から、実現に向けて取り組むことが必要です。



小樽市内のイメージ図①



小樽市内のイメージ図②

# 小樽ならではの鉄道-小樽港連携ネットワークづくり

## 提言の背景

- 新幹線・在来線駅と港湾とが近接しているのは、小樽市の特色です。
- この港町小樽の特性・特色と新幹線の広域高速交通機能を連携させることにより、小樽市ならではの新幹線駅機能の実現が可能になります。

## 提言

- アクセスルートの整備などにより、新幹線・在来線と小樽港との連携・ネットワーク化を図り、クルーズ客船と新幹線の双方を利用した新しい観光メニューを開発し、観光需要を創出する必要があります。
- クルーズ客船、新幹線を含めた小樽独自の観光ツアーなどにより、小樽の観光ポテンシャルの向上を図る必要があります。



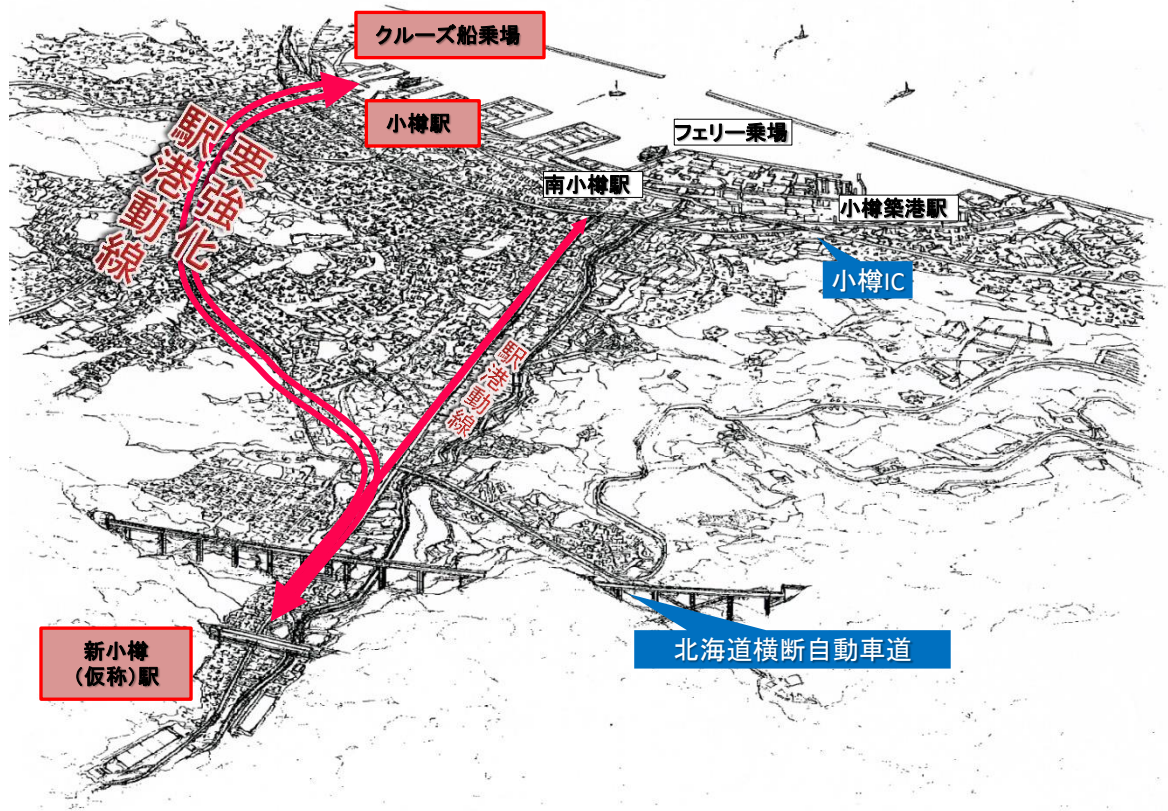
船見坂より臨む第3号埠頭



勝納埠頭に停泊中のクルーズ客船  
(サン・プリンセス77,441t)

- 対岸諸国との国際定期フェリーの就航と港湾施設の整備など、小樽港の港湾機能の高度化、複合化を図り、新小樽（仮称）駅の開業を契機として、小樽市の産業基盤の高度化を進める必要があります。

## 小樽ならではの鉄道-小樽港連携ネットワークづくり



新小樽（仮称）駅と小樽駅、小樽港の動線を強化し、できる限り短時間でアクセスさせることで一体性を高め、札幌等からの新幹線利用者が小樽駅からの乗継利便性を認識することにより、新小樽（仮称）駅乗降ニーズが拡大することで全列車を停車させることが可能となります。

# 新小樽（仮称）駅と既存地域資源などとの連携の促進

## 提言の背景

- 地域の資源や魅力を活かすことにより、小樽観光など地域経済の振興・発展と新幹線の利用者の拡大が可能になります。
- 啓発活動による地域住民の気運を高めることではじめて、新幹線を新たな素材とした観光まちづくりの実現が可能となります。
- 新幹線駅舎・駅周辺のデザインが新たな小樽の観光をイメージさせることとなります。

## 提言

- 小樽商科大学等と、観光資源のブランド化、観光振興に向けた共同調査、共同研究、人材育成に取り組む必要があります。
- 大学の教育・研究活動を通じた首都圏大学との連携、交流を拡大し、新幹線を利用した研究者、学生の交流、往来の活発化が必要です。
- 朝里川温泉地域・奥沢水源地等の新たに発掘される小樽観光プロジェクトと既存の観光資源との連携を図り、新しい観光周遊ルートを開発し、観光振興と新幹線利用の拡大を図る必要があります。
- 新幹線開業に向けて、「イベント等による市民啓発」や「デザイン会議」などを設置することにより、市民が自ら行動し、積極的に参加できる新幹線を活かした観光まちづくりの方向性を議論する場が必要です。

### 参考事例: 北斗市新幹線新駅周辺空間デザイン審議会

鉄道・運輸機構から示された駅舎デザイン案3つのなかから、トラピスト修道院のポプラ並木のイメージを反映したデザイン案を選定



### 参考事例: 新幹線木古内駅の駅舎デザイン検討

町が設置した「駅舎コンセプト作成委員会」で検討し、平成22年3月、「波と森のプロムナード～北の交流発進地」に決定





## 新小樽（仮称）駅と既存地域資源などとの連携の促進



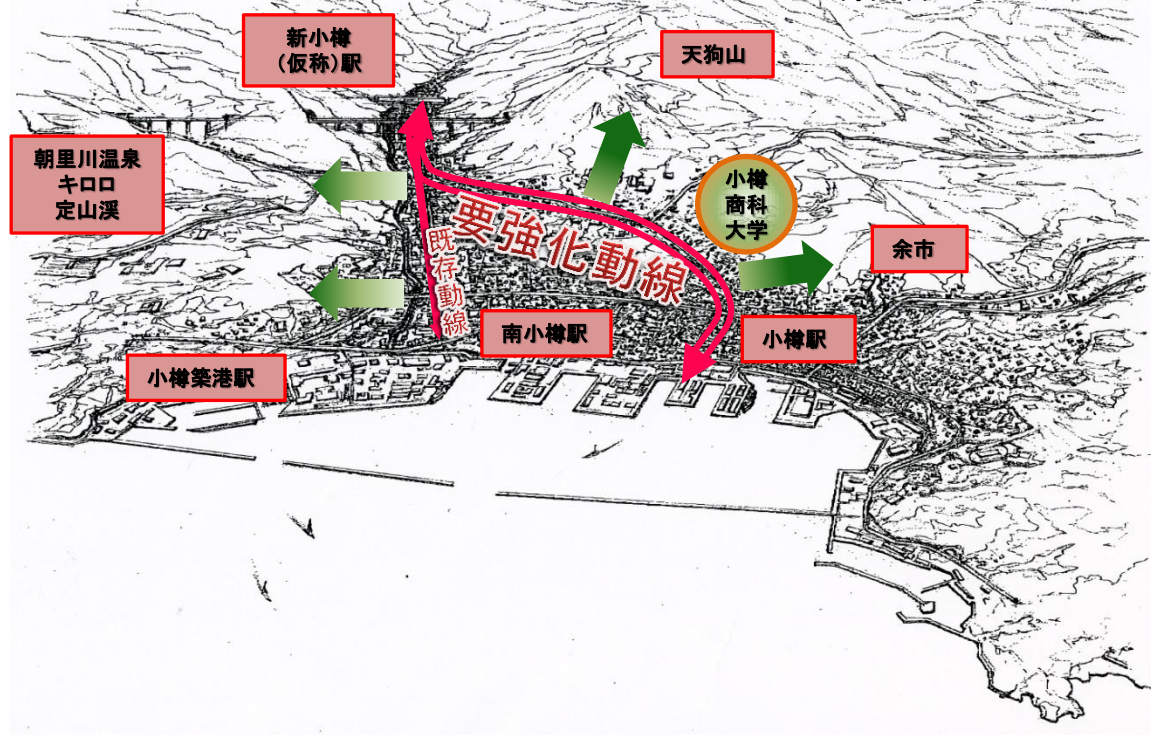
新小樽（仮称）駅イメージ



天狗山から臨む小樽市街地の眺望



小樽商科大学のキャンパス



新小樽（仮称）駅と小樽駅、小樽港の動線の強化は、新駅舎から朝里川温泉、キロコ、天狗山など既存の観光拠点へのアクセス利便性が高まり、新たな小樽観光の発着地として、新小樽（仮称）駅乗降ニーズを拡大させることで、全列車を停車させることが可能となります。

# 新小樽（仮称）駅前広場からの公共交通の充実

## 提言の背景

- 新小樽（仮称）駅を利用する方の多くはバス・タクシーなど公共交通や送迎車・レンタカーからの利用となります。二次交通の確保が新幹線駅の利便性を左右することになります。
- 駅前広場での乗り継ぎ利便性を向上させ、アクセス交通となるバス・タクシーの利用は、質の高いサービスを提供することにより、新幹線利用者増加につなげることができます。

## 提言

- 高速バスとのアクセスを可能にする新幹線駅は、近接する高速道路高架橋区間へのバス停の設置や、アクセス道路となる立体施設の整備が必要です。
- 主要施設を巡る循環バス、ワンコインの導入による利用しやすいバス・タクシーサービスを提供することが必要です。
- 改札口からの駅前広場内各種乗り継ぎは、乗降場へのわかりやすい歩行者動線を確保することが必要です。
- 駅前広場、市内の主要な地点では、冬季でも快適なバス・タクシー待ち環境を創出することが必要です。
- 観光情報、交通情報が手軽に入手できる総合的な情報提供設備を整備、構築することが必要です。
- 新幹線から公共交通への連携として「市内周遊ガイドマップ」の作成など観光行動支援のソフト施策を展開することが必要です。

# 新小樽（仮称）駅前広場からの公共交通の充実

## 鉄道と高速道路との結節点 「高速バス停の設置イメージ」

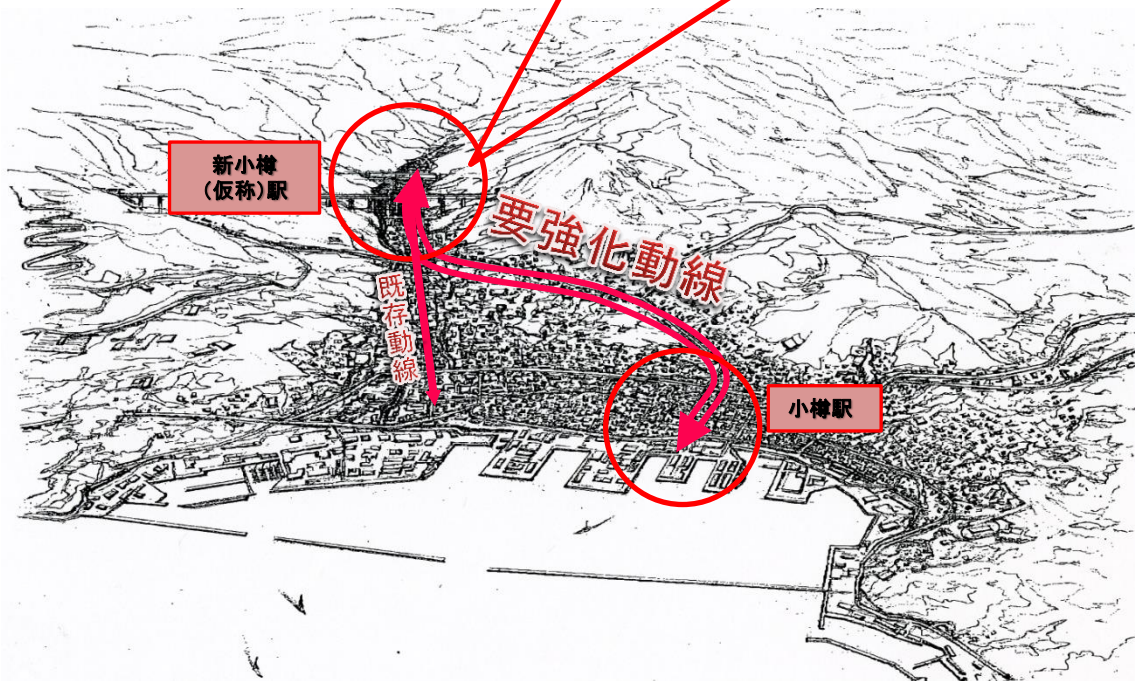
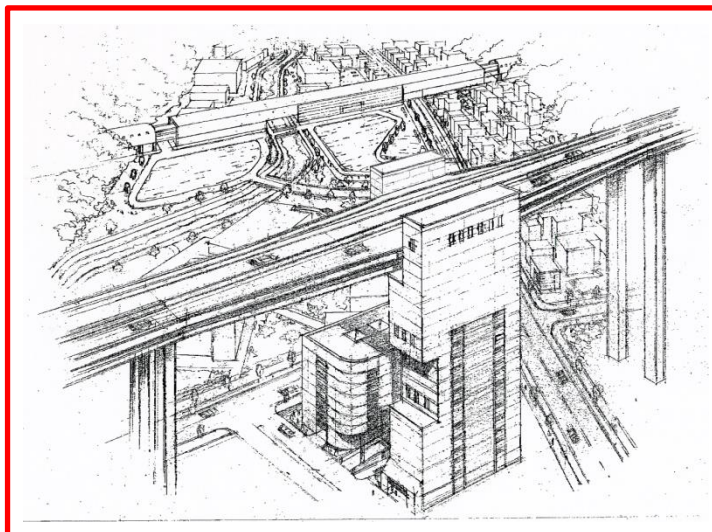
### 新幹線駅舎と横断自動車道の様子

駅の斜め上空は高速バスの停留所が設置され、停留所と駅前広場連絡通路等と接続する立体施設内エレベーター等により、新幹線と高速バスの乗り継ぎが可能となります

また、隣接して利用者のための立体駐車場の整備も可能になります

※明石海峡大橋「高速舞子」バス停

阪神高速神戸線「高速長岡京」バス停で導入されています



新小樽（仮称）駅と小樽駅、小樽港の動線を強化することにより、新駅がこれらの起点として利便性の高い快適な滞留・まち空間を創り上げ、そして、人を呼び込むことで、新小樽（仮称）駅乗降ニーズを拡大させ、全列車を停車させることが可能となります。

# 新小樽（仮称）駅利用の基本となる大規模駐車場の整備

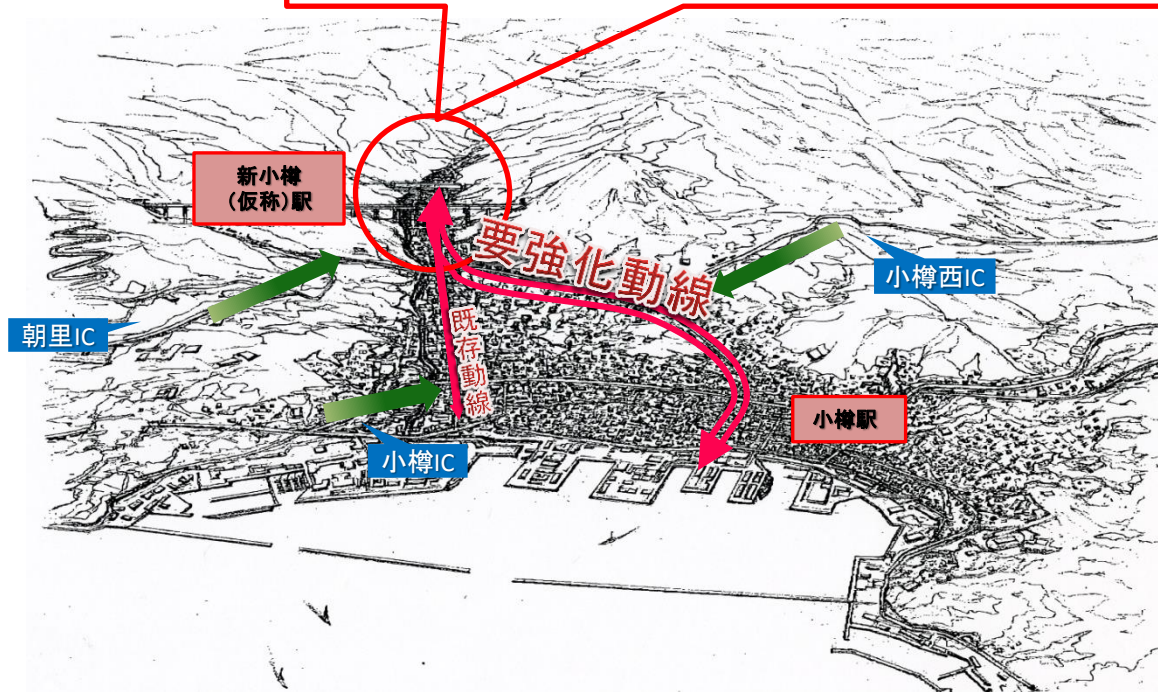
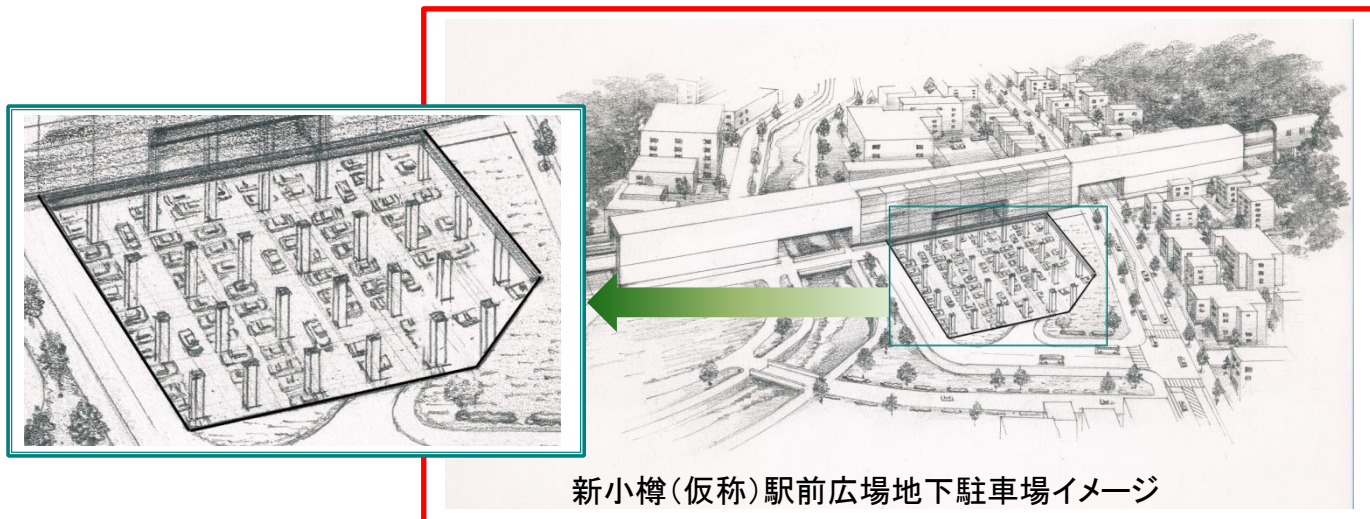
## 提言の背景

- 新小樽（仮称）駅と似た立地条件にある既存の新幹線駅には、駐車場不足、二次交通の不十分さなどにより閑散とした状態になっている例もあります。
- 利用者ニーズに対応した駐車場を確保することにより、新幹線利用者増加につなげることができます。

## 提言

- 安定した利用者確保には、駅周辺パークアンドライド（P&R）駐車場を整備することが必要です。
- 新小樽（仮称）駅と高速道路との結節点整備時には一体化した駐車場を整備することが必要です。
- 駅前広場は、バス・タクシーによる公共交通専用駐車スペースとし、送迎車は、地下駐車場等により確保することが必要です。
- 新小樽（仮称）駅周辺地域に、札幌市手稲区及び石狩市、さらに北後志地域の利用者を意識した無料もしくは低価格の駐車場を整備することが必要です。
- 上記広域交通流入ルート周辺等に整備される駐車場の利便性を高める為のバスターミナル駐車場など、送迎システムを構築することが重要です。

## 新小樽（仮称）駅利用の基本となる大規模駐車場の整備



新小樽（仮称）駅と小樽駅、小樽港の動線を強化することにより、高速道路各ICからの流入経路が合流する新小樽（仮称）駅周辺に、各々目的に合った駐車場を確保し、自動車利用者の乗降ニーズの高い新幹線駅とすることで全列車を停車させることが可能となります。

# 小樽市内外との新小樽（仮称）駅アクセス道路等の整備

## 提言の背景

- 地域の重要な資源である観光を活かすためには、小樽市のみならず北後志地域と連携し新幹線利用の拡大を進めることが重要です。
- 新小樽（仮称）駅と各観光地を「つなぎ」「まわる」「とまる」の観点で交通動線を整備することにより観光都市小樽の魅力が向上し、観光振興を図ることができます。

## 提言

- 新小樽（仮称）駅は、カバーする北後志5町村等での周遊観光動線を強化する必要があります。
- 積丹方面・石狩湾新港方面から利用促進となる拠点（観光滞在型駐車場）を整備する必要があります。
- 国道393号と小樽港フェリーターミナルを結ぶアクセス道路の強化により青果市場付近に大規模駐車場や地元産品を販売する「道の駅」など新たな観光集客拠点としての可能性があります。



積丹町



古平町



小樽市



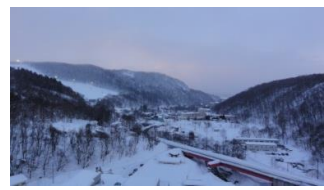
余市町



仁木町

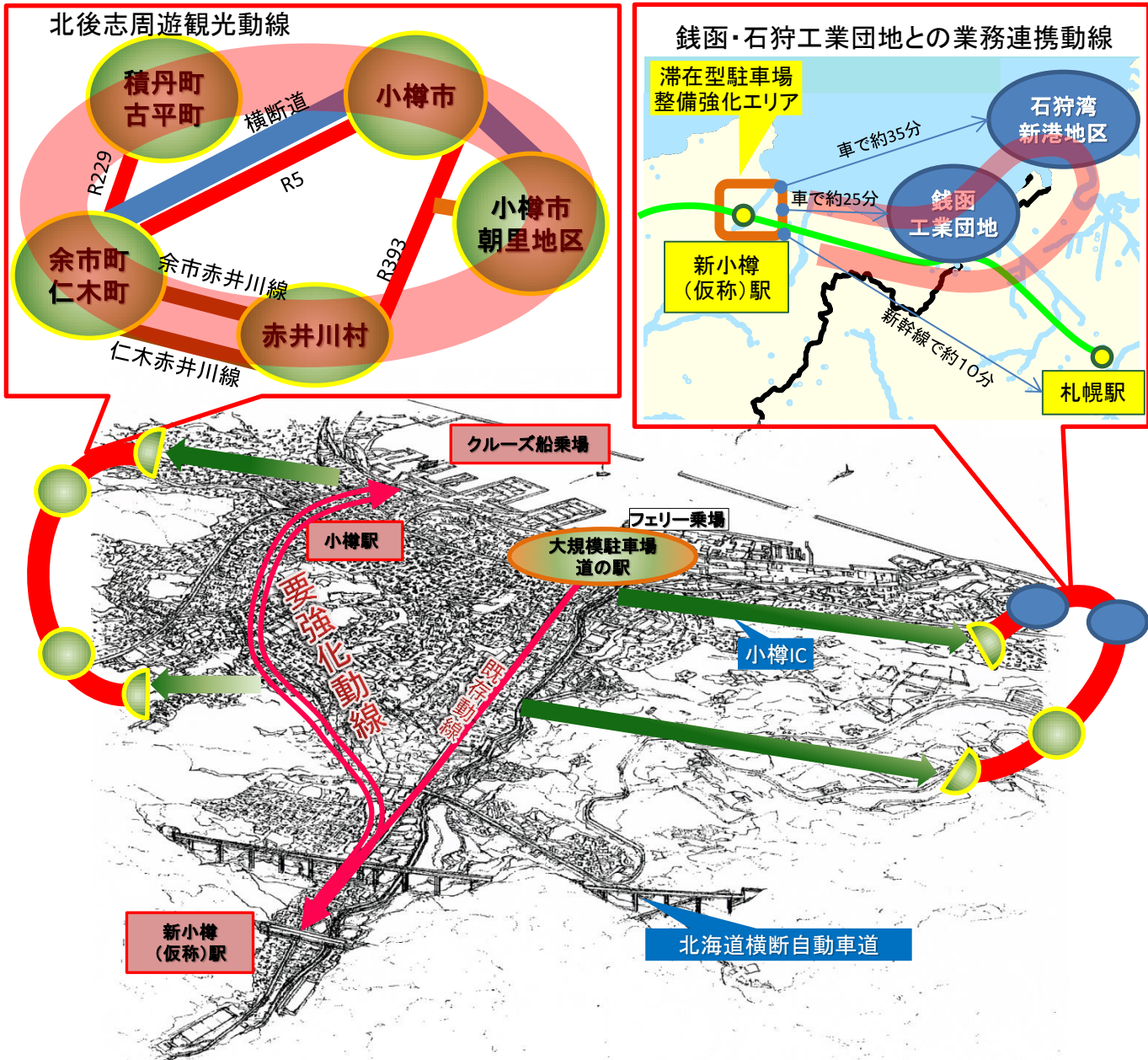


赤井川村



小樽市朝里川温泉地区

# 小樽市内外との新小樽（仮称）駅アクセス道路等の整備



小樽市外の観光・業務地からの流入経路が合流する新小樽（仮称）駅と小樽駅、小樽港の動線の起終点となる駅周辺に来訪者滞在用駐車場を確保し、自動車利用が必要な方々への利便性を高めることで札幌駅との差別化が図られ、全列車を停車させることが可能となります。

# 広域高速交通機能を活用した都市型住宅の整備 (定住人口の増加へ)

## 提言の背景

○札幌への新幹線通勤圏（新小樽～札幌間31.98km）としての可能性が高まり人口増加が期待できます。

（参考）新幹線定期月額 東京～大宮間 30.3km : 54,490円

広島～東広島間31.8km : 48,340円

福山～新倉敷間33.1km : 48,590円

○新幹線の高速交通機能を活かした、札幌大都市圏の機能高度化と小樽市の立地ポテンシャルの向上が期待されます。

## 提言

○新小樽（仮称）駅周辺には、まとまった用地を活用した公的な住宅を整備する必要があります。また、北海道が新幹線駅周辺に道営住宅整備活用方針を改定する方向性を示していることから、小樽市における整備について要望する必要があります。



新小樽（仮称）駅付近の現況

○国道393号沿線の住宅地を計画的に整備する必要があります。

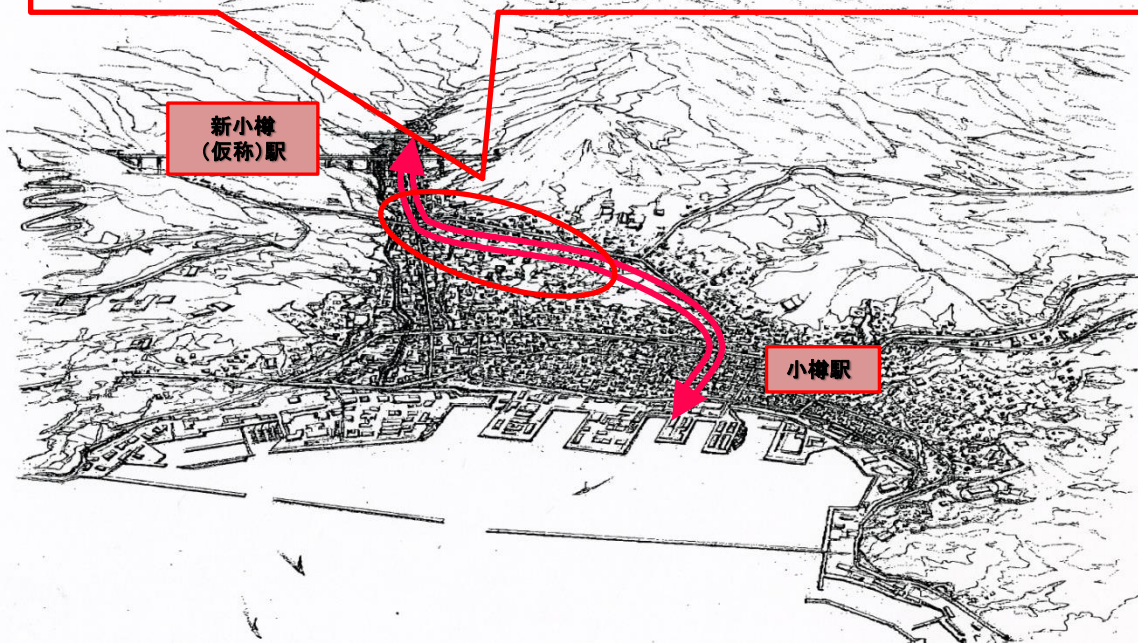
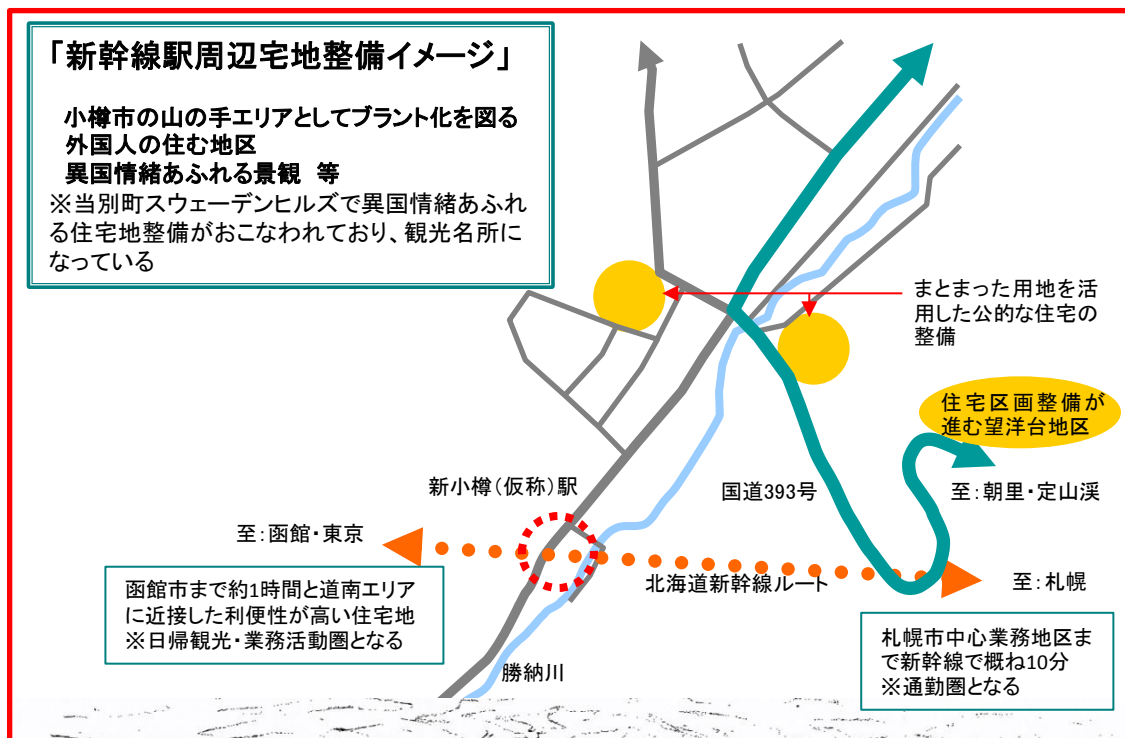
○住宅整備にあたっては、ユニバーサルデザインや魅力的な住環境の形成に配慮する必要があります。



札幌への近接性が魅力の高層マンション建設より人口が大きく増加した小樽築港駅周辺



# 広域高速交通機能を活用した都市型住宅の整備 (定住人口の増加へ)



新小樽駅（仮称）駅と小樽駅、小樽港の動線を強化することで、沿線周辺での宅地開発・定住化が図られ、さらには、札幌圏等との新幹線通勤利用者を誘発することが見込まれ、新小樽（仮称）駅に全列車を停車させることが可能となります。

## <北海道新幹線（函館～札幌間）認可に至るまでの経緯>

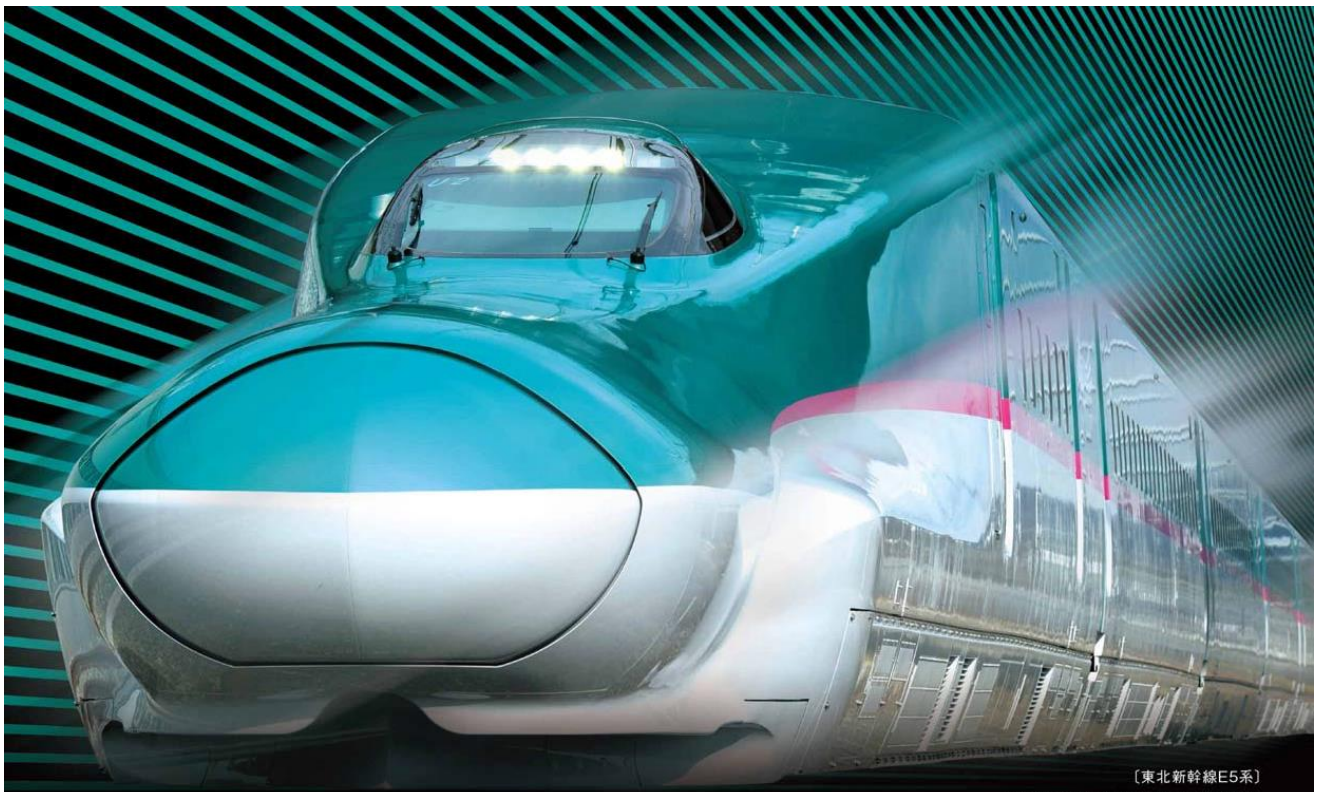
昭和45	(1970)年	5月	全国新幹線鉄道法制定
昭和47	(1972)年	2月	北海道新幹線建設促進後志・小樽期成会設立(後志・小樽20市町村)
昭和48	(1973)年	11月	北海道新幹線整備計画決定(ルートは北回り・経過地に小樽市付近)
平成10	(1998)年	2月	北海道新幹線(新函館・札幌間)駅・ルート概要公表
平成12	(2000)年	7月	環境影響評価準備書の周知徹底のための小樽市で住民説明会開催
		12月	政府・与党申合せ(北海道新幹線の認可申請の実施を明記)
平成16	(2004)年	12月	政府・与党申合せ(北海道新幹線新青森・新函館(仮称)間のH17年度初着工を明記)
平成18	(2006)年	7月	「北海道新幹線札幌延伸を強く願う小樽期成会」設立(小樽商工会議所) 「札幌間の工事実施計画の認可・着工に向けて積極的な要望活動の推進」
平成18	(2006)年	12月	「北海道新幹線新小樽(仮称)駅周辺整備構想」作成(小樽市)
平成23	(2006)年	12月	政府・与党確認事項を決定(札幌開業は「新青森・新函館間の開業から概ね20年後」と明示)
平成24	(2012)年	6月	北海道新幹線新函館(仮)～札幌間の工事実施計画認可
平成24	(2012)年	7月	「北海道新幹線札幌延伸を強く願う小樽期成会」から「北海道新幹線建設促進小樽期成会」に名称変更
		11月	「北海道新幹線有効活用ワークショップ」を設置



		現在	新幹線開業後	延長	短縮時間
札幌～新小樽(仮称)	鉄道利用	約45分	約10分	32km	約35分
新小樽(仮称)～函館	鉄道利用	約4時間30分	約1時間10分※	180km	約3時間20分
新小樽(仮称)～仙台	鉄道利用	約7時間00分	約3時間20分	530km	約3時間40分
新小樽(仮称)～東京	飛行機利用	約5時間00分	約4時間50分	855km	約10分
	鉄道利用	約8時間30分			約3時間40分

新幹線開業後は現東北新幹線所要時間より算出(北海道新幹線は平均速度200kmと設定※東北新幹線新青森-仙台間の時刻表より)

※新函館北斗-函館駅間の20分を加えている



〔東北新幹線E5系〕

この車両は東京新青森間で運行している車両です。

# 北海道新幹線

北海道新幹線、  
いよいよ北海道上陸へ  
カウントダウン！



2035年度  
開業予定

2015年度末  
開業予定

2015年度末 新函館(仮称)まで開業すると


新函館(仮称) ⇐ 約1時間 ⇒ 新青森

新函館(仮称) ⇐ 約2時間30分 ⇒ 仙台

2035年度 札幌まで開業すると

新函館(仮称) ⇐ 約1時間 ⇒ 札幌

出典 / 国土交通省



「新幹線による北海道の地域経済の発展を支援します。」

北海道新幹線の有効活用についての提言書

～新小樽（仮称）駅周辺の整備に向けて～

作成：北海道新幹線有効活用ワークショップ

**【連絡先】北海道新幹線建設促進小樽期成会**

〒047-8520 小樽市稲穂2-22-1 小樽商工会議所内  
TEL0134-22-1177 FAX0134-29-0630

